

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の理念に基づき施設理念を作られており、それにもなって個人の目標を作成し面接等で実践につなげており、会議等で確認できている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍前は祭り等施設に来所していただいたり、地域の活動にボランティア等で参加できていたがコロナ禍でほとんどできていない。地域包括支援センターが主催するマグカフェにてグループホームの紹介をさせてもらい、理解を得てもらう機会をつくった。	地域代表者より、今年は地域イベント開催予定のものもあり、開催日予定を報告予定。次年度はグループホーム参加計画していく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1回、運営推進会議を開催し活動報告や事故ヒヤリ、ヒヤリハットについて報告し出された意見等をサービス向上に活かしている。	報告内容良く出来ていると評価。ヒヤリハット等の記載内容についての充実度、活用度についてサービスに活かされているのではないかと評価。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議以外でも、介護保険上の相談や確認など連絡が行えている。	市担当者運営推進会議参加時には防災のことについても情報交換できている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人権や虐待等についてのアンケートや研修を年間通して行い、また必須研修として施設内研修、動画でも外部研修を行い、理解に努め、身体拘束にならないケアに取り組んでいる。		Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止についての研修を行い、正しい知識を身につけ虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。		Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コンプライアンス研修にて権利擁護について学ぶ機会はあるが、制度に対する研修は施設内では実施していない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時、家族に契約書・重要事項説明書をもとに説明を行い、理解納得を図り、契約を交わしている。その際は不安や疑問点がないか確認している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議、アンケート、家族会等から利用者、家族の意見要望、提案を聞く機会を設けており、要望、意見については「福祉サービス苦情解決処理要領」に沿って対応するようになっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の運営会議、全体会、グループホーム会議にて職員の意見や提案を聞く機会がある。また、一年に一回アンケート実施し、職員の意見要望を次年度事業計画に反映している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	目標達成度評価表で個々の業務遂行、目標の進捗状況等把握している。敬仁会の諸規定、各手順により給与や研修体制等明確になっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内外の研修を受ける機会があり、個々の経験年数、希望等に沿って研修が受講できている。年3回の面接では職務基準により能力評価を行い目標についての擦り合わせも行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内でのグループホーム部会にて他施設と交流をもち事例検討会等開催し、事例検討会で認知症に対する理解や振り返るよい機会となっている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に役割のある生活を送れるよう、洗濯たたみ、調理等行い互いに感謝の言葉を掛け合っている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍にて施設側からは積極的に行えておらず、家族に委ねていることがほとんどだが、馴染みの場所へのドライブや墓参り行っている。	外部から知人が来所された際の面会は施設としては拒んでいないが、地域との馴染みな繋がりは行えていない。		
<b>Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族聞き取りや普段の生活、生活歴からアセスメント(センター方式使用)を行い、介護計画書に反映させ支援に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族聞き取りや、本人の日頃の言葉から課題を見つけ話し合いを行い、介護計画書に反映している。毎月のモニタリングよりリスクについても確認事項あり必要であれば介護計画書変更できるようにしている。	次回より目に見てわかるものがあればとのこと。	Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	次回より実際に介護計画書見て評価してもらうようにしていく。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス経過に記入し情報共有している。それを元にモニタリング実施、状態変化あればミニカンファレンスを行い介護計画書見直しを行っている。計画に基づいた記録を心掛けている。		A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別記録を用意する。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族、本人に合わせた通院支援や往診行っている。施設の特徴としても、他事業所や専門職から協力が得やすい。	問いに対して内容を確認しなおした方が良い。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍にて買い物等地域の方と関わる機会は減っているが、昨年度は小学生とハガキのやり取り実施、外へ散歩、ドライブに出かける機会をつくっている。	コロナ禍で地域に出ることが難しい中でもできることを行った。今後も外に出て地域の方と触れ合う機会をつくっていく。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族の意向を尊重し、かかりつけ医の受診や往診を支援している。病状によっては専門外来の受診について家族と相談しながら進めている。主に看護師が同行し日々の暮らしぶりや病状等相談し主治医との連携がとれている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院された際は定期的に地域連携室を通して連絡をとり連携図っている。退院時には退院前カンファレンスの開催を依頼し、医師、病院関係者、家族、グループホームと情報共有し受け入れ体制を整えている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化した場合の指針を入所時に説明を行い同意を得ている。カンファレンスの際に終末期に向けた意向確認を行っている。状況により医療機関等へ看護師が連携をとっているが、地域関係者との支援までには至っていない。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員全員が救急法の研修を受講している。また係会議にて看護師による急変時の対応等の研修も行っており実践に活かせるよう取り組んでいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	消防計画に沿って年二回、日中夜間想定避難訓練を行っている。また地震、水害想定を図上訓練を行っている。また上井地区と防災協定を交わし避難場所になっており協力体制築いている。	地域代表より、中部地震の際は、大変お世話になった。こちらがお世話になるだけではなく、助け合いが大事。数年前に避難訓練に参加して車椅子での避難口からの避難は難しいと感じた。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後は避難訓練時、実際に外まで避難してみることが必要。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設内研修にて倫理についての研修、虐待の芽チェックリストの実施、認知症利用者のケアとしてパーソンセンタードケアを基本と取り組んでいる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的な生活のスケジュールはあるが、利用者個々の体調やペースに合わせ、希望に沿えるよう支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在厨房にて食事提供行っているため、調理を行う機会は少ないがお膳を下げていただいたり、洗い物をしていただく機会をつくっている。食事以外ではおやつ作りで皮むき等の作業していただいている。		A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	広報マグノリア便で楽しく調理をされている利用者様を見ることができ喜ばしい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓞ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養士が作成した献立表を基本とし、利用者個々の嗜好に合わせ食事提供している。食事量だけでなく水分量もチェック行い摂取状況把握に努めている。食事、水分とも無理にならないよう勧めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	Ⓞ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケア支援行っている。自分で洗える方洗っていただき、必要に応じて介助行っている。歯がない方にはうがいやスポンジブラシ使用してもらっている。		Ⓞ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者個々の排泄パターンを把握し、できる限りトイレでの排泄を支援している。安全に排泄できるよう必要に応じて二人介助行っている。失敗を減らせるよう案内の時間を検討し取り組んでいる。		A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴時間が決まっているため、希望になかなか浴えないこともあるが、無理な案内はせず一人一人にあった声かけやタイミングをみて案内行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の体調や生活リズムに合わせて日中は活動できるよう支援し、昼寝等休む時間を設け、夜間安眠できるよう努めている。なかなか寝付けな方はホールで過ごしていただいたり本人の希望を聞きながら支援している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々が使用している薬の最新の薬剤情報をケースに綴り、確認できるようにしている。変更時は看護師にしてみるノートに記入し周知できるようにしている。適宜記録に残し看護師に報告できるようにしている。		A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬に関する事故ヒヤリやヒヤリハットあり。引き続き服薬方法を統一し確実に服用できるよう支援していく。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分ではないが、喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴から抹茶をたてて頂いたり、花を生けて頂く等力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の出来るよう支援をしている。	スライド(写真)を見ていただき、内容把握していただく。  一人ひとりの生活歴をしっかり聞き取ることが大切。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分ではないが、本人の希望に沿えるよう外出行事を計画し出かけたり、近所の公園を散歩してもらい季節感を感じたり、楽しみになるよう支援している。	地域の運動会に参加できればと提案あり。今後も一人ひとりの希望を聞き取り支援をお願いしたい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓔ. ほとんどできていない	所持しておられる利用者の方はおられるが、使えるような支援は出来ない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍にて窓越し面会を行っている。電話を積極的に活用したりお便りと一緒に本人が書いた手紙を入れたり昨年度は年賀状を送っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	温度、湿度に気を付けながら換気、エアコン使用しソファでくつろげるように環境設定行っている。季節感のある飾りつけや花を生けたりしている。不用意にテレビをつけたりせず馴染みの音楽を流したりリラックスできるよう努めている。		Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
<b>IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の意向を把握するため日々の経過記録、アセスメント行い介護計画書に反映し意向に沿った暮らしができるよう取り組んでいる。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前アセスメント、介護計画書見直しカンファレンス時に本人、家族に聞き取りを行い情報収集を行い計画書に必要時反映し支援できるようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各項目ごとにアセスメントを行い課題をみつけ介護計画書に反映し支援を行っている。		A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	習慣を把握し介護計画書に反映し本人のペースで生活できるよう支援を行っている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族にも協力を得て馴染みのものを持ってきていただき、安心して過ごしていただけるよう居室内環境を整えている。		A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ⓐ. ほとんどできていない	コロナ禍になる前は家族と外出をしたり、小学校の運動会等に出かけていたが現在はできていない。	コロナ禍でできなかったと思う。段々と感染も減少し出かける機会をつくれると思うので期待している。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人負担にならないよう、できることわかることを把握したうえで、役割やレクリエーションの提供を行っている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関わりを持ち職員だけでなく他利用者とも会話できるように支援している。また、話ができない利用者が孤立しないよう職員仲介に入りコミュニケーションをとっている。		A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ⓐ. ほとんどできていない	コロナ禍の前はボランティアの方や家族と出かけたりし人との関わりがあったが、現在は交流できていない。	コロナ禍で難しかったと思うが、可能なことはないか模索していただきたい。		

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームで役割をもち、やりがいや満足を得られるよう支援し安心して生活できるように取り組んでいる。	グループホームでの役割ややることの達成感、満足感での喜びなど利用者様が楽しく安心して生活できるよう取り組んでいただきたい。	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	引き続き個々にあった役割を見つけ提供し、必要とされていると実感できるような支援に努めていく。
----	----	--	--	---	---	--	--